

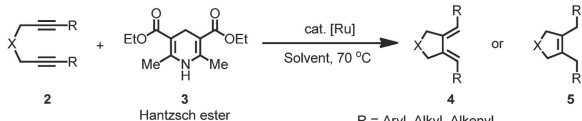
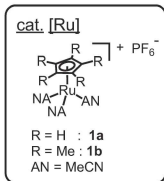
30K-pm03

ルテニウム触媒とハンチュエステルを用いたジエンの水素移動型還元環化反応における生成物選択性

○森 翔大¹, 澁谷 正俊¹, 山本 芳彦¹(¹名古屋大院創薬科学)

【目的】当研究室では、メタノールを水素源としたジエンの還元環化反応を報告しているが、アルキン末端部位としては芳香族置換基が必須であった。そこで本研究では、基質適用範囲の拡大を目的とし、水素源を Hantzsch ester **3** とする新たな水素移動型還元環化反応を開発したので報告する。

【方法・結果】アルキンの末端部位 R にアリール基、アルキル基、アルケニル基を導入した基質 **2** と触媒 **1a** または **1b** を用いて反応を検討したところ、1,3-ジエン体 **4** やモノアルケン体 **5** が異なる選択性で得られた。生成物選択性は基質と触媒条件との組み合わせに依存しており、テザー X 及び末端置換基 R の種類に応じて、触媒 **1a** または **1b** を用いることにより、**4** または **5** を選択的に得ることができた。



R = Aryl, Alkyl, Alkenyl

X = O, NTs, C(CO₂Me)₂, C(OMe)₂, etc.